

国府グラウンド・西スポーツ会館照明LED化工事

図 面 リ ス ト								
図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺
0 1	電気設備特記仕様書（1）	—	0 4	国府グラウンド 照明設備配置図	S=1/400	0 9	西スポーツ会館 1階照明設備改修図	S=1/100
0 2	電気設備特記仕様書（2）	—	0 5	国府グラウンド 照明柱改修詳細図	S=1/50	1 0	西スポーツ会館 2階照明設備改修図	S=1/100
0 3	電気設備特記仕様書（3）	—	0 6	国府グラウンド 改修内容一覧表・機器表図・照明分電盤改修図	—	1 1	西スポーツ会館 1階照明設備撤去図	S=1/100
			0 7	国府グラウンド 受電設備改修詳細図	S=1/400・1/40	1 2	西スポーツ会館 2階照明設備撤去図	S=1/100
			0 8	国府グラウンド 受電設備撤去詳細図	S=1/400・1/40			

※図面の縮尺はA 2 版サイズによるものとする。

設計監理：てらい建築設計

1
一般
共通
事項

⑮ 監督職員事務所

⑰ 工事用電力・水その他

⑱ 工事用仮設備

⑲ 足場場・棧橋類

⑳ 施工計画書

㉑ 施工図等

㉒ 完成図等

㉓ 営繕工事電子納品

㉔ 火災保険等

㉕ 軽微な変更等

㉖ 不当介入における通報義務

27 残土処分

28 他工事との工事区分

29 合成樹脂管配線

30 薄鋼電線管

31 電線本数・管路等

㉚ 金属製電線管の塗装

33 保護管

34 最上階の埋込配管

35 呼び線

36 プレートの材質

37 位置ボックス等

38 E M－E E Fケーブルの仕様について

39 地中配線の埋設深さ等

40 地中線の埋設標

41 ハンドホール鉄蓋

㉛ 電力・電話等の引き込み

○ 設けない

・ 設ける（ 号）

・ 既設建物を使用

本工事に必要な工事用電力・水等及び諸手続きなどに要する費用はすべて受注者の負担とする。

すべて受注者の負担とする。

但し、設置条件は、構内につくことが （ ○ できる ・ できない ）。

・ 別契約の関係受注者の定置する足場、棧橋の類は、無償で使用できる。

○ 本工事で設置する。

足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、同ガイドライン「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、同ガイドライン「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の（2）手すり据置方式または、（3）手すり先行専用足場方式により、足場の組立、解体または変更の作業を行う。

○ 総合施工計画書 工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を工事の着手に先立ち作成し、監督員に提出する。

○ 工種別施工計画書 次の工種について作成し、監督員にて提出する。

・ 受変電設備 ・ 発電設備 ・ 電力貯蔵設備

施工図等の著作権にかかる使用権は、発注者に移譲するものとする。

完成図等は、標準仕様書第1編第1章第7節「完成図」により作成する。

完成図をC A Dにより作成する場合の保存形式及び保存媒体は、監督員の指示による。

○ 設計図（C A Dデータ）修正

営繕工事電子納品要領による。

工事施工中、火災保険または、それに代わる請負賠償責任保険等に参加し、証書の写しを提出する。

現場の納まり、取合いなどの関係による協議の中で、設計図書によることが困難または、不都合な場合の軽微な変更は、監督員の指示による。この場合、請負金額の変更は行わない。

妨害又は不当要求に対する通報義務

1）受注者は契約の履行に当たって、暴力団関係者等から事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求または契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報をしなければならぬ。なお、通報がない場合は入札参加資格を停止することがある。

2）受注者は暴力団等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に業務を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長を請求することができる。

建設発生土を構外搬出（または搬入）する場合は、「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」（平成19年4月1日施行）を遵守して、適正に処理すること。

・ 監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。 ・ 別途

・ 構外搬出とする（※土壌検査を ・ 実施する ・ 実施しない）。

図面に特記なき場合、別表「C. 工事区分表」による。ただし、これにより難い場合は監督員と協議する。

合成樹脂製可とう管（P F管）及び付属品は、タイプ2 5のものを使用する。なお、電力用位置ボックス類は原則として合成樹脂製とするが、コンクリート打込み部分は金属製としてもよい。ただし、金属製とする場合は当該ボックスには接地を施すものとする。また、ボックス類を外部に面した壁に打込む場合はボックスに保温・結露対策の処置を施すこと。

薄鋼電線管は表示されているものと同一外形のねじなし電線管を使用してもよい。

分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督員の承諾を受けて変更しても差し支えない。また、機械室等の床配線は図面上P F管で記載している場合であっても、立上げ部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長にわたって接地線を設ける。

次の露出配管は塗装を行う。

○ 屋 外 （ 露出配管部 ） ・ 屋 内 （ ）

ケーブル配線の保護管は、標準仕様書の金属管配線、合成樹脂管配線の項による。

最上階の天井スラブへの埋込配管は、原則として避けるものとする。

長さ1 m以上の入線しない電線管には、電線太さ1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。

フラッシュプレートは、図面に特記なき場合は次による。

・ 金属製（ステンレス・新金属製を含む） ・ 樹脂製

ケーブルころがし配線で送り配線端子のある場合は、照明器具、スピーカー、感知器の位置ボックスは、不要とする。

3心以上のE M－E E Fケーブルについて、1心を接地線として使用する場合は当該心線絶縁体の識別色が緑色である材料を使用すること。

地中配線で、特記なき埋設深さは0.6 m以上とする。また、地中配線には標識シート等（2倍長以上重ね）を設ける。

構内線路における埋設標の材質及びその個数は、図面に記載のない場合は、次による。

・ 鉄製（ 箇所） ・ コンクリート製（ 箇所）

ハンドホール等の鉄蓋は、鋳形流し込みで用途名を表示する。

・ 構内配電線路の用途名（ ・ 電力 ・ 高圧 ） ・ 構内通信線路の用途名（ ・ 通信 ・ ）

・ 共用する場合の用途名（ ・ 電力 ・ ）

電力及び電話等引き込み線の引留方法、位置については電力会社及び電気通信事業者等と打合せのうえ監督員と協議により施工する。

・ 国府グラウンド（電力受電契約変更）高圧→低圧へ

1
一般
共通
事項

43 接 地 極

図面に特記なき場合は、次表の「接地極一覧表」による。

接地の種類	記 号	接地抵抗値	接地極の規格・数量
・ 共同設置	E _{A・B・C・D}	Ω以下	E B（D＝14、L＝1,500 または W＝40、L＝1,200）×3連－2組
・ 共同設置	E _{A・C・D}	1 0 Ω以下	E B（D＝14、L＝1,500 または W＝40、L＝1,200）×3連－2組
・ A 種	E _A	1 0 Ω以下	E B（D＝14、L＝1,500 または W＝40、L＝1,200）×3連－2組
・ B 種	E _B	Ω以下	E B（D＝14、L＝1,500 または W＝40、L＝1,200）×3連－2組
・ C 種	E _C	1 0 Ω以下	E B（D＝14、L＝1,500 または W＝40、L＝1,200）×3連－2組
・ D 種	E _D	Ω以下	E B（D＝14、L＝1,500 または W＝40、L＝1,200）×3連－ 組
・ D 種	E _D	1 0 0 Ω以下	E B（D＝10、L＝1,000 または W＝30、L＝900） × 1
・ 高圧避雷器	E _{LH}	1 0 Ω以下	E B（D＝14、L＝1,500 または W＝40、L＝1,200）×3連－2組
・ 交換装置用	E _t	1 0 Ω以下	E B（D＝14、L＝1,500 または W＝40、L＝1,200）×3連－2組
・ 通信用	E _{A t}	1 0 Ω以下	E B（D＝14、L＝1,500 または W＝40、L＝1,200）×3連－2組
・ 通信用	E _{D t}	1 0 0 Ω以下	E B（D＝10、L＝1,000 または W＝30、L＝900） × 1
・ 電話引込口の保安器用	E _{D t}	1 0 0 Ω以下	E B（D＝10、L＝1,000 または W＝30、L＝900） × 1
・ 測定用	E _D	1 0 0 Ω以下	E B（D＝10、L＝1,500 または W＝30、L＝1,200）×3連－ 1組
・ 構造体接地		Ω以下	
・ 等電位接地		Ω以下	

44 機器取付高さ

図面に特記なき場合は、次による。

名 称	測 点	取付高さ(mm)	名 称	測 点	取付高さ(mm)			
電力 共通	積算計器	地 上～窓中心	1,800～2,000	出 退 表 示	情報表示盤	床 上～中 心	天井高×0.9	
	引込開閉器	地 上～中 心	1,800～2,000		壁付発信器	床 上～中 心	1,300	
電 灯					ベル・ブザー・チャイム	床 上～中 心	2,300	
	分電盤	床 上～中 心	1,500 (上端1,900以下)		壁付押釦（一般）	床 上～中 心	1,300	
	スイッチ	床 上～中 心	1,300		壁付インターホン（一般）	床 上～中 心	1,300	
	スイッチ（自動扉）	床 上～中 心	1,800		〃（身体障害者）	床 上～中 心	1,100	
	スイッチ（人感センサ）	床 上～中 心	1,800		壁付アウトレット（一般）	床 上～中 心	300	
	コ	（一般）	床 上～中 心	300		壁付アウトレット(和室)	床 上～中 心	150
	ン	（和室）	床 上～中 心	150		呼出釦（多目的便所）	床 上～中 心	900
	セン	（台上）	台 上～中 心	150～ 200		復帰釦	床 上～中 心	1,500～1,800
	ト	（土間）	床 上～中 心	500				
ブ ラ ケ ット	（外壁・屋外）	地 上～中 心	800	テ レ ビ	機器収納箱	天井下～上 端	200	
	（一般）	床 上～中 心	2,100～2,300		直列ユニット（一般）	床 上～中 心	300	
	（踊場）	床 上～中 心	2,000～2,500		直列ユニット（和室）	床 上～中 心	150	
	（鏡上）	鏡上端～中 心	150	共 同 受 信				
動 力	壁掛形制御盤	床 上～中 心	1,500 (上端1,900以下)	火 災 報 知				
	手元開閉器	床 上～中 心	1,500					
構 内 交 換	制御スイッチ	床 上～中 心	1,300	備 考	受信機・副受信機	床 上～中 心	800～1,500	
	室内端子盤	床 上～下 端	300		機器収納箱・発信器	床 上～中 心	800～1,500	
	集合保安器箱	天井下～上 端	200		警報ベル	床 上～中 心	800～1,500	
	壁付電話機	床 上～中 心	1,300		表示灯	床 上～中 心	2,100	
	ア ウ ト レ ット	（一般）	床 上～中 心		300	ガス用検知器（LPG）	床 上～上 端	300
	（和室）	床 上～中 心	150					
時 計								
	壁掛形親時計	床 上～中 心	1,500 (上端1,900以下)					
拡 声	子時計	床 上～中 心	天井高×0.9					
	壁掛形スピーカ	床 上～中 心	天井高×0.9					
	壁付アツテネータ	床 上～中 心	1,300					

原設計図
【A 2】

工事名

国府グラウンド・西スポーツ会館照明LED化工事

図 名

電気設備特記仕様書（2）

縮 尺

FREE

番号

12枚の内 2号

設 計
年月日

令和 7年 7月

設 計

てらい建築設計

二級建築士 第7424号
寺井 政志

高 山 市

1 一般 共通 事項	45	耐震措置	<p>設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針（国土交通省）2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。</p> <p>1）設計用水平地震力は機器重量に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。</p> <p>なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は次の表による。</p> <table><tr><td>＜施設区分＞</td><td>特定の施設</td><td>一般の施設</td></tr><tr><td>＜重要機器＞</td><td>配電盤</td><td>発電装置(防災用)</td><td>交流無停電電源装置</td><td>直流電源装置</td></tr><tr><td></td><td>交換装置</td><td>中央監視制御装置</td><td>自動火災報知受信機</td><td>総合盤</td></tr><tr><td></td><td>放送架</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <p>＜上層階の定義＞ 2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階</p> <p>＜中層階の定義＞ 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの</p> <table><tr><th colspan="5">局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度</th></tr><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th colspan="2">特定の施設（甲類・乙類）</th><th colspan="2">一般施設（乙類）</th></tr><tr><th>重要機器・水槽</th><th>一般機器・水槽</th><th>重要機器・水槽</th><th>一般機器・水槽</th></tr><tr><td rowspan="3">上層階、 屋上及び塔屋</td><td>2.0 (2.0)</td><td>1.5 (2.0)</td><td>1.5 (2.0)</td><td>1.0 (1.5)</td></tr><tr><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td rowspan="3">中間階</td><td>1.5 (1.5)</td><td>1.0 (1.5)</td><td>1.0 (1.5)</td><td>0.6 (1.0)</td></tr><tr><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="3">地下、1階</td><td>1.0 (1.0)</td><td>0.6 (1.0)</td><td>0.6 (1.0)</td><td>0.4 (0.6)</td></tr><tr><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr></table> <p>（注）（ ）内数値は防振支持の機器に適用する。 （ ）内数値は水槽類に適用する。</p> <p>2）設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。</p> <p>（ ）書き又は△を頭に付した室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。</p> <p>1）安全施設の使用・設置は関係法令等を順守するほか次のとおり講じなければならない。</p> <p>（1）原則、昇降用梯子で作業しないこと。ただし、やむを得ず作業する場合は、作業する高さに関わらず安全帯を使用しなければならない。</p> <p>（2）墜落制止用器具は一連の作業において親綱の掛け替え等が生じる場合は、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。</p> <p>1）受注者は、工事着手後、作業員全員の参加により月当たり、半日以上上の時間を割り当て、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施しなければならない。</p> <p>さらに、工事内容や現場状況に応じて、過去の事故事例集（下記URL参照）の活用により、工事現場で想定される事故防止対策を必ず実施すること。</p> <p>（1）安全活動のビデオ等視聴覚資料による安全教育</p> <p>（2）当該工事内容等の周知徹底</p> <p>（3）工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底</p> <p>（4）当該工事における災害対策訓練</p> <p>（5）その他、安全・訓練等として必要な事項</p> <p>http://www.pref.gifu.lg.jp/shakai-kiban/kendo/gijutsu-kanri/11656/index_3971.html</p> <p>1）本工事において、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手方を岐阜県内に本店（建設業法（昭和24年法律第100号）に規定する主たる営業所含む。）を有する者の中から選定するよう努めること。</p> <p>2）本工事において、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は岐阜県内に本店を有する者の中から選定するよう努めるとともに、調達する工事材料は岐阜県産とするよう努めること。</p> <p>3）ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について</p> <p>（1）ディーゼルエンジンを動力とする車両には、JIS規格の軽油を使用すること。</p> <p>（2）ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には、協力すること。</p> <p>4）コンセントプレート、中継ボックス及びOAフロア内ハーネスジョイントボックスには、行先分電盤名、回路名を表示すること。</p> <p>5）キュービクル及び各分電盤には幹線系統図を作成し、各々に添付すること。</p>	＜施設区分＞	特定の施設	一般の施設	＜重要機器＞	配電盤	発電装置(防災用)	交流無停電電源装置	直流電源装置		交換装置	中央監視制御装置	自動火災報知受信機	総合盤		放送架				局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度					設置場所	特定の施設（甲類・乙類）		一般施設（乙類）		重要機器・水槽	一般機器・水槽	重要機器・水槽	一般機器・水槽	上層階、 屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)	2.0	1.5	1.5	1.0	2.0	1.5	1.5	1.0	中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)	1.5	1.0	1.0	0.6	1.5	1.0	1.0	0.6	地下、1階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)	1.0	0.6	0.6	0.4	1.5	1.0	1.0	0.6	
	＜施設区分＞	特定の施設	一般の施設																																																																								
＜重要機器＞	配電盤	発電装置(防災用)	交流無停電電源装置	直流電源装置																																																																							
	交換装置	中央監視制御装置	自動火災報知受信機	総合盤																																																																							
	放送架																																																																										
局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度																																																																											
設置場所	特定の施設（甲類・乙類）		一般施設（乙類）																																																																								
	重要機器・水槽	一般機器・水槽	重要機器・水槽	一般機器・水槽																																																																							
上層階、 屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)																																																																							
	2.0	1.5	1.5	1.0																																																																							
	2.0	1.5	1.5	1.0																																																																							
中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)																																																																							
	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																							
	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																							
地下、1階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)																																																																							
	1.0	0.6	0.6	0.4																																																																							
	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																							
2	電力・ 受変電・ 発電	<p>1 照明制御 総合動作試験</p> <p>照明制御の総合動作試験は次に示す事項について行い、監督員に試験成績書を提出し承諾を受けること。</p> <ul style="list-style-type: none">目標照度設定のための各調光センサー（夜間及び日中）在不在制御機能の動作及び動作時間設定のための調光人感センサータイムスケジュール制御における点滅及び調光制御の動作確認外光センサーによる点滅及び調光制御のための動作確認 <p>注）上記試験項目は全数確認とする。</p> <p>② 照度測定</p> <p>一般照明の照度測定を着工前、完成時の2回測定し、監督員に報告する。なお、測定場所は、監督員との協議による。</p> <p>照度測定は、JIS基準に基づき実施すること。（但し、完成時の照度は照度計画値以上であること）</p> <p>（照度計画値） 野球】 内野：300ℓx以上 外野：200ℓx以上 ゲートボール・柔道】 200ℓx以上</p> <p>3 発電機回路</p> <p>発電機回路に接続されるコンセントは、回路種別が識別できるものとする。なお、特記なき場合、自家発電装置に接続する回路は原則として赤色コンセントとする。また、発電機回路用ケーブルの被覆も色分けすること。</p> <p>4 自家発電設備の 配管工事等</p> <p>原動機・発電機と付属各機器間の燃料油、冷却水などの配管、制御用配線は監督員の承諾を受けて多少相違しても差し支えない。</p> <p>5 電動機等の接地</p> <p>金属管配管において、電動機容量7.5kw以下は金属管を接地線とする。</p>																																																																									

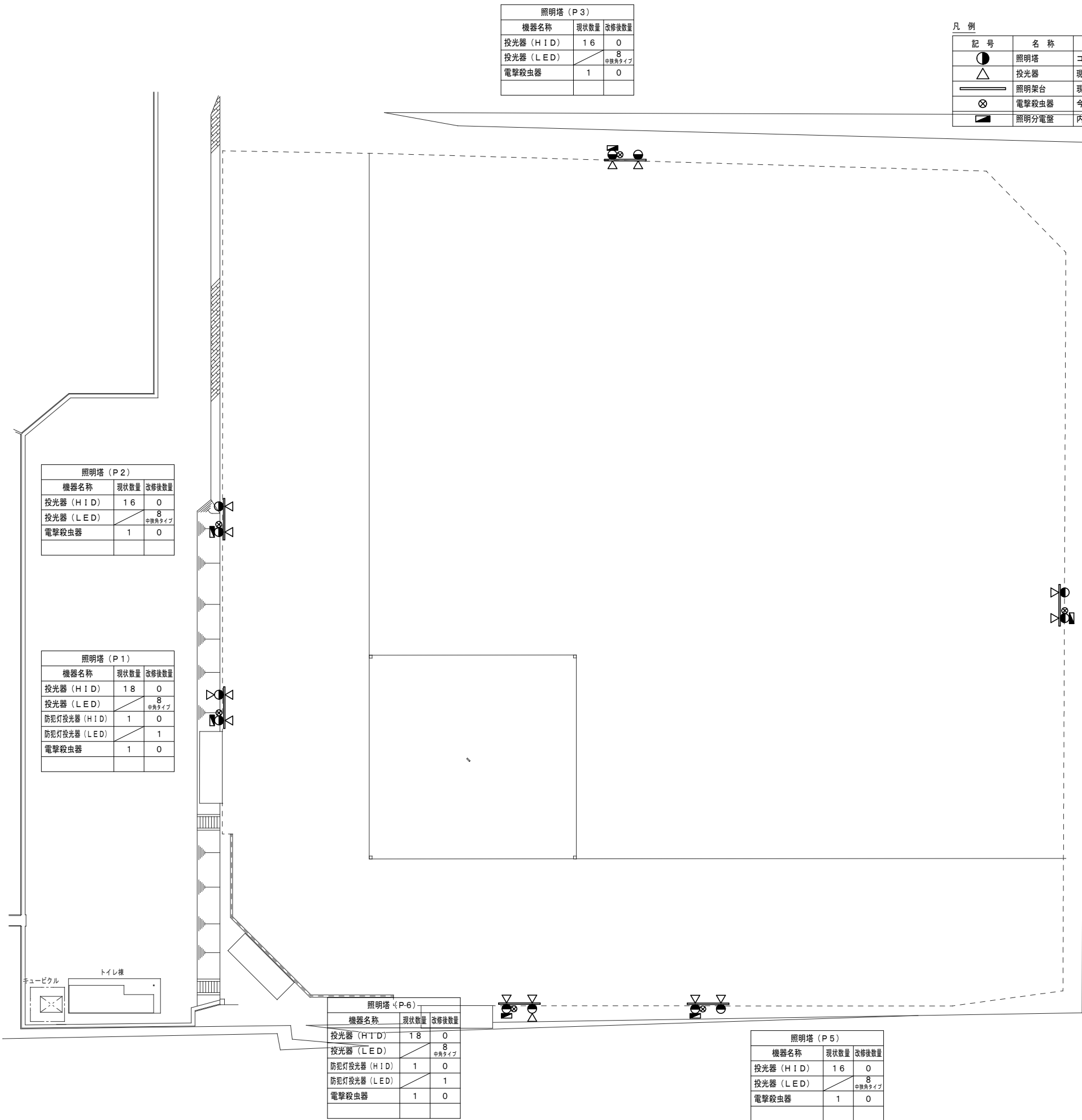
2 電力・ 受変電・ 発電	6	分電盤等	本工事の分電盤、OA盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器の寸法と定格は、JIS C 8201-2-1：付属書JC（参考）「電灯分電盤用協約形回路遮断器」によるものとし、特記なき場合、JIS協約形の1Pサイズ（100V2P1E、200V2P2E）とする。
	7	OA盤・端子盤	また、漏電遮断器の寸法と定格は、JIS C 8201-2-2：付属書JC（参考）「電灯分電盤用協約形回路遮断器」によるものとし、特記なき場合、JIS協約形の1Pサイズ（100V2P2E）とする。
	8	インバーター装置の 規約効率	OA盤の端子盤部及び端子盤には、換気口を設けるものとする。
	9	低圧配電盤	三相可変速運転用インバーター装置の規約効率は、次の数値以上とする。
	10	設備機器容量等	表
			表
3 通信・ 情報	1	ケーブル	EM-CPEEケーブルは、EM-FCPEEを使用しても良い。
	2	非常放送用スピーカ	EM-UTPケーブルは、使用用途が判別できるようシース色等を変えること。
	3	電界強度の測定	表
			表
4 改修 一般 事項	①	施工調査	下記によるほか、改修工事標準仕様書による。
	2	仮設備	事前調査
	3	養生	表
	④	発生材の処理	表
	5	はつり	既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
	6	再使用機器	表
	⑦	既設との取り扱い	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後、取付ける。ただし、絶縁劣化等使用に耐えない場合は、監督員に報告する。
	⑧	週休2日制の導入	本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。
	⑨	水銀ランプ	本工事は、完全週休2日を原則とした週休2日制工事（現場閉所）とする。
			詳細は、「高山市発注の建設工事に係る週休2日制工事実施要領」による。
			西スポーツ会館の水銀ランプは運搬中に破損しない程度に梱包したうえで位山交流広場に搬入すること。

工事名	国府グラウンド・西スポーツ会館照明LED化工事		
図名	電気設備特記仕様書（3）		
縮尺	FREE	番号	12枚の内 3号
設計年月日	令和 7年 7月		
設計	てらい建築設計	二級建築士 第7424号	寺井 政志
高山市			

原設計図【A2】

原設計図
【A2】

工事名	国府グラウンド・西スポーツ会館照明LED化工事		
図名	電気設備特記仕様書（3）		
縮尺	FREE	番号	12枚の内 3号
設計年月日	令和 7年 7月		
設計	てらい建築設計	二級建築士 第7424号 寺井 政志	
高山市			



照明塔 (P3)		
機器名称	現状数量	改修後数量
投光器 (H I D)	16	0
投光器 (L E D)		8 中投角タイプ
電撃殺虫器	1	0

凡 例

記 号	名 称	仕 様
●	照明塔	コンクリート柱
△	投光器	現状：H I D器具 今回工事：L E D器具へ取替
—	照明架台	現状のまま使用
⊗	電撃殺虫器	今回工事にて撤去
■	照明分電盤	内部改修有 ※筐体は再塗装

照明塔 (P4)		
機器名称	現状数量	改修後数量
投光器 (H I D)	16	0
投光器 (L E D)		8 中投角タイプ
電撃殺虫器	1	0

照明塔 (P2)		
機器名称	現状数量	改修後数量
投光器 (H I D)	16	0
投光器 (L E D)		8 中投角タイプ
電撃殺虫器	1	0

照明塔 (P1)		
機器名称	現状数量	改修後数量
投光器 (H I D)	18	0
投光器 (L E D)		8 中角タイプ
防犯灯投光器 (H I D)	1	0
防犯灯投光器 (L E D)		1
電撃殺虫器	1	0

照明塔 (P6)		
機器名称	現状数量	改修後数量
投光器 (H I D)	18	0
投光器 (L E D)		8 中角タイプ
防犯灯投光器 (H I D)	1	0
防犯灯投光器 (L E D)		1
電撃殺虫器	1	0

照明塔 (P5)		
機器名称	現状数量	改修後数量
投光器 (H I D)	16	0
投光器 (L E D)		8 中投角タイプ
電撃殺虫器	1	0

既設照明塔 改修内容

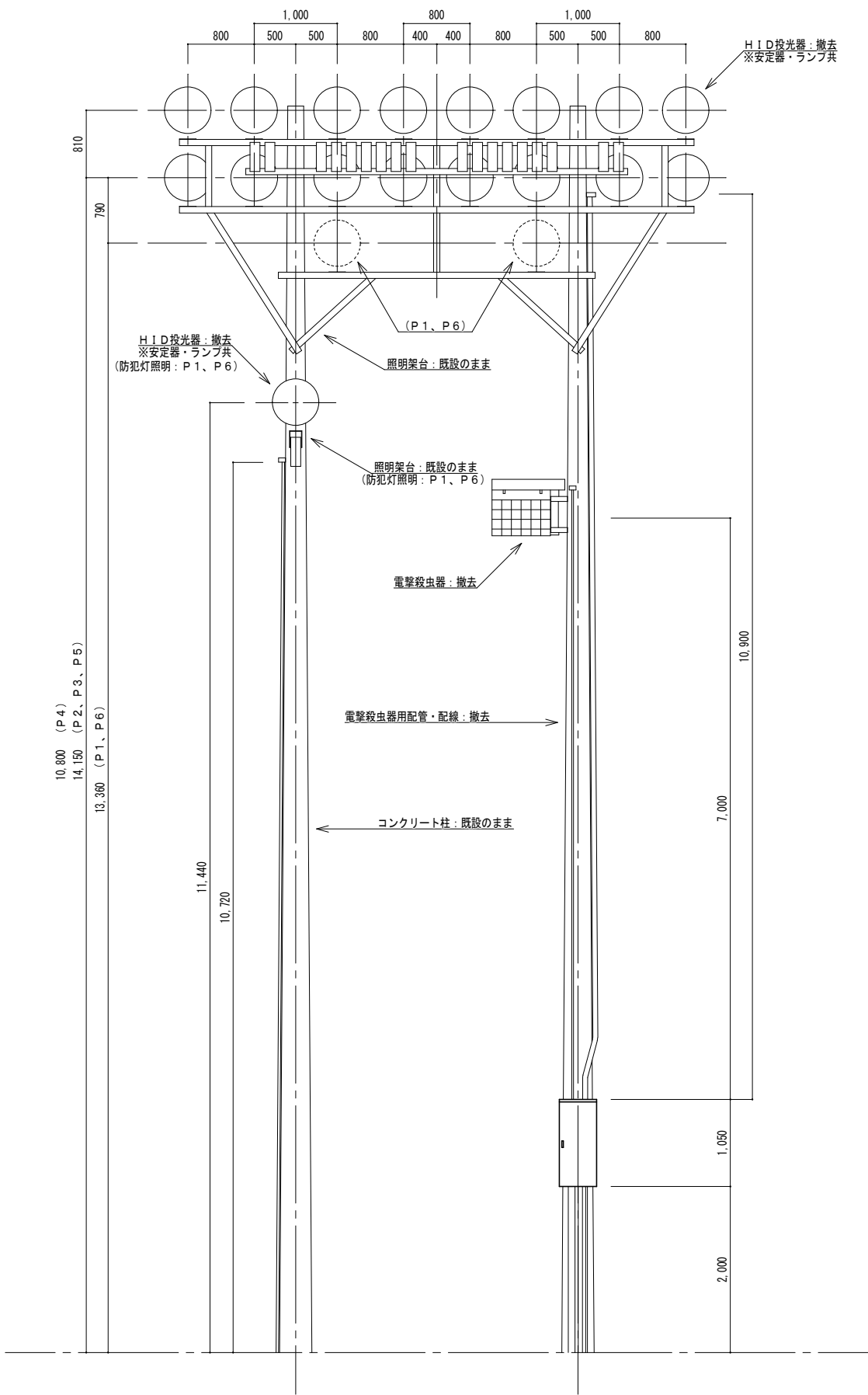
照明塔番号	改 修 内 容	新設	撤去	改修
P 1	1. 電撃殺虫器撤去 (コンクリート柱取付型)		○	
	2. 上記に付随する配線、配管撤去		○	
	3. 既存照明器具の撤去 (H I D) (投光器、ランプ、安定器)		○	
	4. 照明器具の新設 (L E D)	○		
	5. 上記に伴う照明用配線の改修 (不良個所の補修・延長等)			○
	6. 照明分電盤の再塗装 (指定色にて現地塗装) (D P 塗) ※不要開口の補修			○
	7. 露出配管部の再塗装 (指定色にて現地塗装) (D P 塗) ※破損部分の修繕			○
	8. 既存防犯灯照明器具の撤去 (H I D) (投光器、ランプ、安定器)		○	
	9. 外部用照明器具の新設 (L E D)	○		
	10. 上記に伴う照明用配線の改修 (不良個所の補修・延長等)			○
	11. 受電方式変更に伴う照明分電盤内の改修			○
P 2	1. 電撃殺虫器撤去 (コンクリート柱取付型)		○	
	2. 上記に付随する配線、配管撤去		○	
	3. 既存照明器具の撤去 (H I D) (投光器、ランプ、安定器)		○	
	4. 照明器具の新設 (L E D)	○		
	5. 上記に伴う照明用配線の改修 (不良個所の補修・延長等)			○
	6. 照明分電盤の再塗装 (指定色にて現地塗装) (D P 塗) ※不要開口の補修			○
	7. 露出配管部の再塗装 (指定色にて現地塗装) (D P 塗) ※破損部分の修繕			○
	8. 受電方式変更に伴う照明分電盤内の改修			○
P 3	1. 電撃殺虫器撤去 (コンクリート柱取付型)		○	
	2. 上記に付随する配線、配管撤去		○	
	3. 既存照明器具の撤去 (H I D) (投光器、ランプ、安定器)		○	
	4. 照明器具の新設 (L E D)	○		
	5. 上記に伴う照明用配線の改修 (不良個所の補修・延長等)			○
	6. 照明分電盤の再塗装 (指定色にて現地塗装) (D P 塗) ※不要開口の補修			○
	7. 露出配管部の再塗装 (指定色にて現地塗装) (D P 塗) ※破損部分の修繕			○
	8. 受電方式変更に伴う照明分電盤内の改修			○
P 4	1. 電撃殺虫器撤去 (コンクリート柱取付型)		○	
	2. 上記に付随する配線、配管撤去		○	
	3. 既存照明器具の撤去 (H I D) (投光器、ランプ、安定器)		○	
	4. 照明器具の新設 (L E D)	○		
	5. 上記に伴う照明用配線の改修 (不良個所の補修・延長等)			○
	6. 照明分電盤の再塗装 (指定色にて現地塗装) (D P 塗) ※不要開口の補修			○
	7. 露出配管部の再塗装 (指定色にて現地塗装) (D P 塗) ※破損部分の修繕			○
	8. 受電方式変更に伴う照明分電盤内の改修			○
P 5	1. 電撃殺虫器撤去 (コンクリート柱取付型)		○	
	2. 上記に付随する配線、配管撤去		○	
	3. 既存照明器具の撤去 (H I D) (投光器、ランプ、安定器)		○	
	4. 照明器具の新設 (L E D)	○		
	5. 上記に伴う照明用配線の改修 (不良個所の補修・延長等)			○
	6. 照明分電盤の再塗装 (指定色にて現地塗装) (D P 塗) ※不要開口の補修			○
	7. 露出配管部の再塗装 (指定色にて現地塗装) (D P 塗) ※破損部分の修繕			○
	8. 受電方式変更に伴う照明分電盤内の改修			○
P 6	1. 電撃殺虫器撤去 (コンクリート柱取付型)		○	
	2. 上記に付随する配線、配管撤去		○	
	3. 既存照明器具の撤去 (H I D) (投光器、ランプ、安定器)		○	
	4. 照明器具の新設 (L E D)	○		
	5. 上記に伴う照明用配線の改修 (不良個所の補修・延長等)			○
	6. 照明分電盤の再塗装 (指定色にて現地塗装) (D P 塗) ※不要開口の補修			○
	7. 露出配管部の再塗装 (指定色にて現地塗装) (D P 塗) ※破損部分の修繕			○
	8. 既存防犯灯照明器具の撤去 (H I D) (投光器、ランプ、安定器)		○	
	9. 外部用照明器具の新設 (L E D)	○		
	10. 上記に伴う照明用配線の改修 (不良個所の補修・延長等)			○
	11. 受電方式変更に伴う照明分電盤内の改修			○

その他設備 改修内容

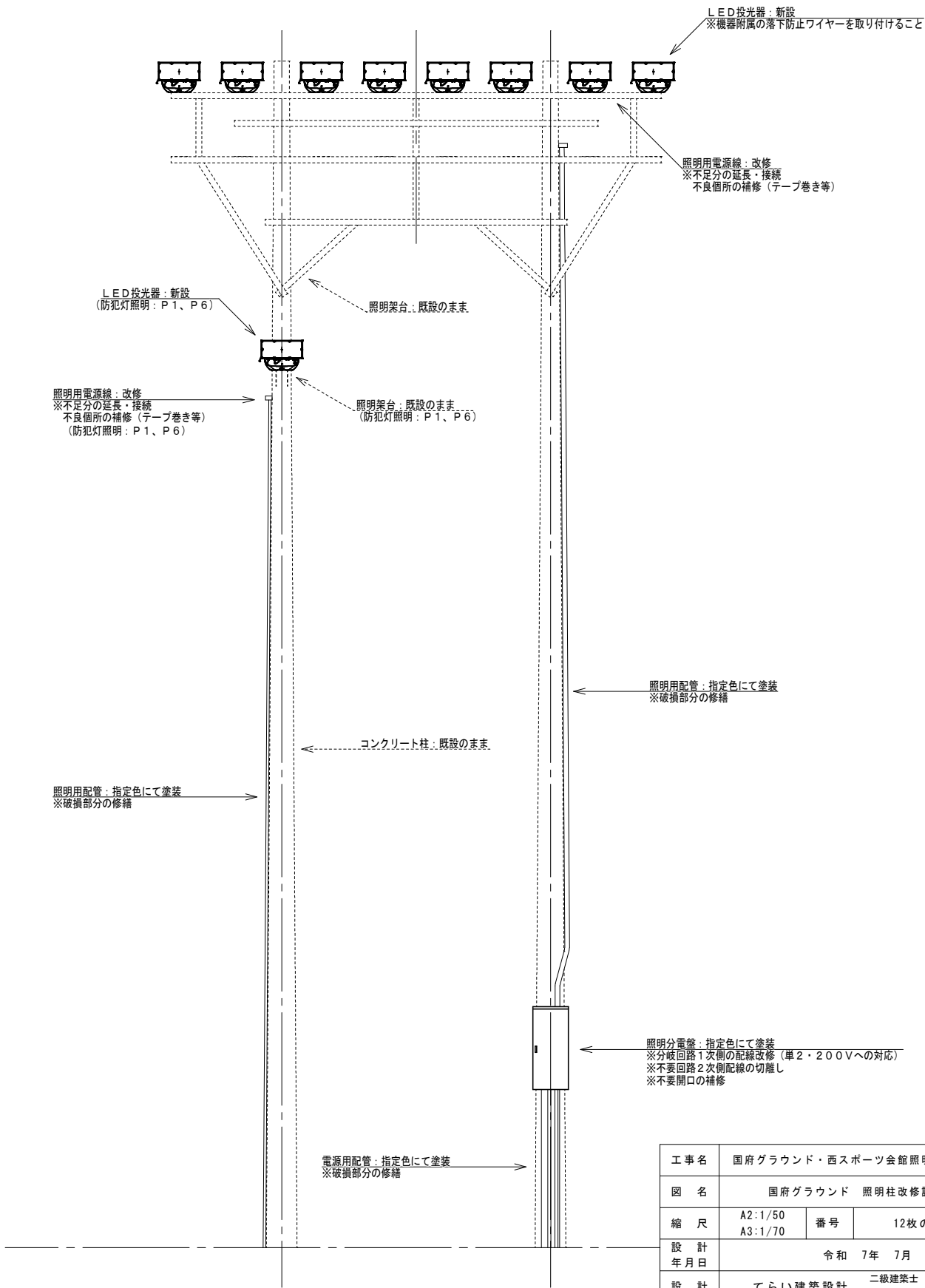
機 器 名 称	改 修 内 容	新設	撤去	改修
受変電設備	1. 高圧受電から低圧受電へ変更 (詳細別図)			○

工 事 名	国府グラウンド・西スポーツ会館照明 L E D 化工事		
図 名	国府グラウンド 照明設備配置図		
縮 尺	A2: 1/400 A3: 1/560	番 号	12枚の内 4号
設 計 年 月 日	令和 7 年 7 月		
設 計	てらい建築設計	二級建築士 第7424号 寺井 政志	
原 設 計 図 【 A 2 】	高 山 市		

現状詳細図（撤去工事）



改修後詳細図（新設・改修工事）



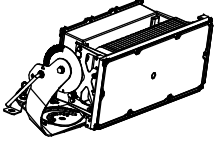
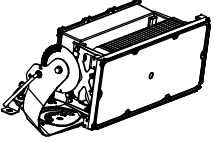
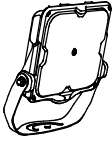
原 設 計 図
【 A 2 】

工 事 名	国 府 グ ラ ウ ン ド ・ 西 ス ポー ツ 会 館 照 明 L E D 化 工 事		
図 名	国 府 グ ラ ウ ン ド 照 明 柱 改 修 詳 細 図		
縮 尺	A2:1/50 A3:1/70	番 号	12 枚 の 内 5 号
設 計 年 月 日	令 和 7 年 7 月		
設 計	て ら い 建 築 設 計	二 級 建 築 士 第 7424 号 寺 井 政 志	
高 山 市			

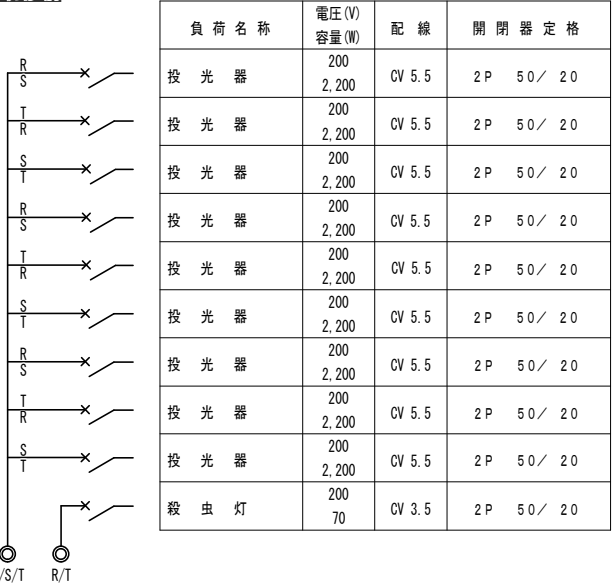
改修内容一覧表

	機器名称	仕 様	数量	撤去工事	新設工事	改修工事	備 考		機器名称	仕 様	数量	撤去工事	新設工事	改修工事	備 考
照明塔（P1）	コンクリート柱		2本				現状のまま	照明塔（P4）	コンクリート柱		2本				現状のまま
	照明架台	3段（上段8台、中段8台、下段2台）	1式				現状のまま		照明架台	2段（上段8台、下段8台）	1式				現状のまま
	投光器（HID）	1000W型	18台	○			約9.3kg		投光器（HID）	1000W型	16台	○			約9.3kg
	同上ランプ	M1000B	18本	○			約1.0kg		同上ランプ	M1000B	16本	○			約1.0kg
	同上安定器	200V 高力率型	18台	○			約15kg		同上安定器	200V 高力率型	16台	○			約15kg
	投光器（LED）		18台		○		既設照明架台に取付		投光器（LED）		16台		○		既設照明架台に取付
	照明用配線	CV5.5※投光器更新に伴い、不足箇所は接続、延長	1式			○			照明用配線	CV5.5※投光器更新に伴い、不足箇所は接続、延長	1式			○	
	照明分電盤	銅板製 屋根付 W:450×H:1,050×D:170	1面			○	指定色 現地D/P塗装 ※不要開口は補修する		照明分電盤	銅板製 屋根付 W:450×H:1,050×D:170	1面			○	指定色 現地D/P塗装 ※不要開口は補修する
	露出配管（分電盤上部）	G54×1本	1式			○	指定色 現地D/P塗装 ※破損箇所は修繕する		露出配管（分電盤上部）	G54×1本	1式			○	指定色 現地D/P塗装 ※破損箇所は修繕する
	露出配管（分電盤下部）	G70×1本、G42×1本、G22×1本	1式			○	指定色 現地D/P塗装 ※破損箇所は修繕する		露出配管（分電盤下部）	G70×1本、G42×1本、G22×1本	1式			○	指定色 現地D/P塗装 ※破損箇所は修繕する
	電撃殺虫器	捕虫ランプ30W×2本	1台	○			約25kg		電撃殺虫器	捕虫ランプ30W×2本	1台	○			約25kg
	電撃殺虫器用配管・配線	G16×1（CV3.5～3C）	1式	○					電撃殺虫器用配管・配線	G16×1（CV3.5～3C）	1式	○			
	外部照明架台	1台用	1式				現状のまま								
	外部投光器（HID）	400W型	1台	○			約5.9kg								
	同上ランプ	NH180	1本	○			約0.5kg								
	同上安定器	200V 高力率型	1台	○			約3.1kg								
照明塔（P2）	防犯灯投光器（LED）		1台		○		既設照明架台に取付	照明塔（P5）							
	露出配管（防犯灯用）	G28×1本				○	指定色 現地D/P塗装 ※破損箇所は修繕する								
照明塔（P3）	コンクリート柱		2本				現状のまま	照明塔（P6）	コンクリート柱		2本				現状のまま
	照明架台	2段（上段8台、下段8台）	1式				現状のまま		照明架台	2段（上段8台、下段8台）	1式				現状のまま
	投光器（HID）	1000W型	16台	○			約9.3kg		投光器（HID）	1000W型	16台	○			約9.3kg
	同上ランプ	M1000B	16本	○			約1.0kg		同上ランプ	M1000B	16本	○			約1.0kg
	同上安定器	200V 高力率型	16台	○			約15kg		同上安定器	200V 高力率型	16台	○			約15kg
	投光器（LED）		16台		○		既設照明架台に取付		投光器（LED）		16台		○		既設照明架台に取付
	照明用配線	CV5.5※投光器更新に伴い、不足箇所は接続、延長	1式			○			照明用配線	CV5.5※投光器更新に伴い、不足箇所は接続、延長	1式			○	
	照明分電盤	銅板製 屋根付 W:450×H:1,050×D:170	1面			○	指定色 現地D/P塗装 ※不要開口は補修する		照明分電盤	銅板製 屋根付 W:450×H:1,050×D:170	1面			○	指定色 現地D/P塗装 ※不要開口は補修する
	露出配管（分電盤上部）	G54×1本	1式			○	指定色 現地D/P塗装 ※破損箇所は修繕する		露出配管（分電盤上部）	G54×1本	1式			○	指定色 現地D/P塗装 ※破損箇所は修繕する
	露出配管（分電盤下部）	G70×1本、G42×1本、G22×1本	1式			○	指定色 現地D/P塗装 ※破損箇所は修繕する		露出配管（分電盤下部）	G70×1本、G42×1本、G22×1本	1式			○	指定色 現地D/P塗装 ※破損箇所は修繕する
	電撃殺虫器	捕虫ランプ30W×2本	1台	○			約25kg		電撃殺虫器	捕虫ランプ30W×2本	1台	○			約25kg
	電撃殺虫器用配管・配線	G16×1（CV3.5～3C）	1式	○					電撃殺虫器用配管・配線	G16×1（CV3.5～3C）	1式	○			
照明塔（P3）								照明塔（P6）	外部照明架台	1台用	1式				現状のまま
									外部投光器（HID）	400W型	1台	○			約5.9kg
									同上ランプ	NH180	1本	○			約0.5kg
									同上安定器	200V 高力率型	1台	○			約3.1kg
									防犯灯投光器（LED）		1台		○		既設照明架台に取付
									露出配管（防犯灯用）	G28×1本				○	指定色 現地D/P塗装 ※破損箇所は修繕する

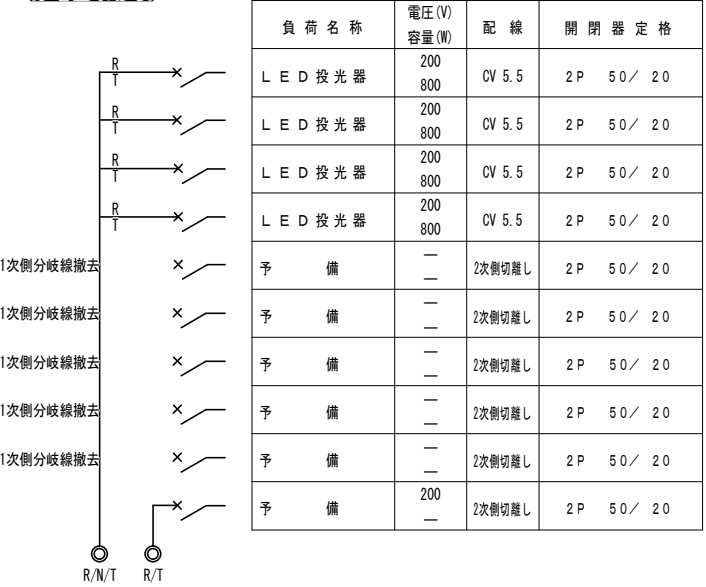
照明器具姿図

グラウンド P1・P6	LED投光器（グラウンドビームER）マルチハロゲン灯S1000形	グラウンド P2～P5	LED投光器（グラウンドビームER）マルチハロゲン灯S1000形	防犯灯 P1・P6	LED投光器（パークビームER）水銀灯4000形相当
					
参考品番：パナソニック_NYS30537-LF2		参考品番：パナソニック_NYS30527-LF2		参考品番：パナソニック_NYS35145K-LE9	
本 体	アルミ、アーム：鋼材（溶融亜鉛メッキ）	本 体	アルミ、アーム：鋼材（溶融亜鉛メッキ）	本 体	アルミ、アーム：鋼材（溶融亜鉛メッキ）
パネル	ポリカーボネート（透明）	パネル	ポリカーボネート（透明）	パネル	ポリカーボネート（透明）
光束69000lm、消費電力400W、電圧200～242V		光束69000lm、消費電力400W、電圧200～242V		光束17400lm、消費電力97.6W、電圧100～242V	
昼白色、5000K、Ra70、中角度タイプ		昼白色、5000K、Ra70、中角度配光タイプ		昼白色、5000K、Ra70、広角タイプ	

分電盤改修前



分電盤改修後



照明分電盤結線改修図

工 事 名	国府グラウンド・西スポーツ会館照明LED化工事		
図 名	国府グラウンド 改修内容一覧表・機器姿図・照明分電盤改修図		
縮 尺	Free	番号	12枚の内 6号
設 計 年 月 日	令和 7年 7月		
設 計	てらい建築設計	二級建築士 第7424号 寺井 政志	
高 山 市			

凡 例

記 号	名 称	仕 様
⊙	中電柱	55キ103
⊗	既設引込柱	撤去・改修有（詳細図参照）
⊕	ハンドホール	現状のまま使用

1φ3W 100/200V60HZ

600V CE-T 100□

筐体新規
内部開閉器取付
225AF/150AT

MODEL: BOP7167W

600V CE-T 150□

※高圧受変電機器類は残置とする

※新規ケーブル及び電灯1次側配線をブースパーに接続

F (5A)

VS

AS

CT×2
500/5A

電 灯

格

定

器

開

閉

2P

50/20

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

既 設

※回路明記修正

※回路明記修正

既設単線結線図（改修図）

外部配線図（改修図）S:1/400

引込柱詳細図（改修図）S:1/40

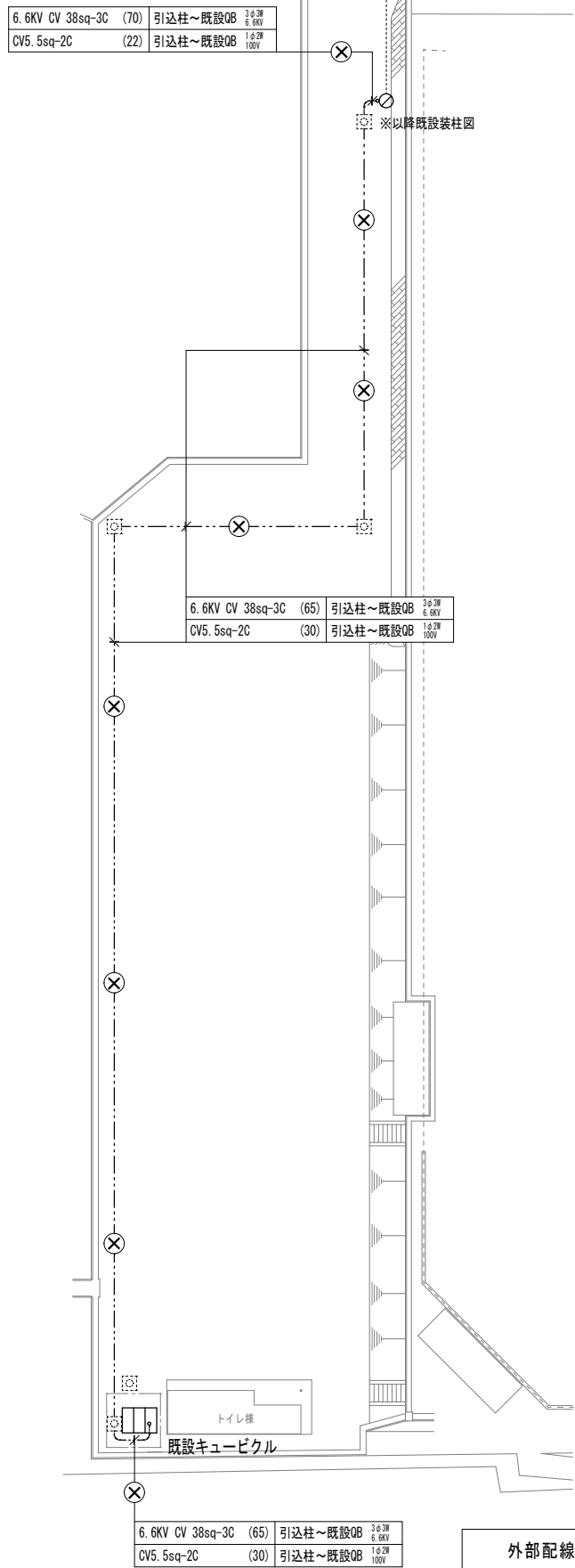
原設計図
【A2】

	名 称 仕 様・規 格	数 量	新 設	改 修	備 考
①	低圧引込線 ※中部電力品	1式	○		※中電施工
②	支線 38sq(7/2.6)	1式			現状のまま
③	コンクリート柱	1本			現状のまま
④	露出配管 VE54	1本 (10m)	○		
⑤	一次側ケーブル 600V EM-CET 100sq	15m	○		
⑥	引込開閉器盤用キャビネット 屋外用 検針窓付（1窓）	1面	○		
⑦	積算電力量計 ※中部電力品	1台	○		※中電施工
⑧	引込開閉器 MCCB 3P 225AF/150AT	1台	○		
⑨	露出配管 G70（可とう管にてキャビネットへ接続）	1本		○	既設配管流用
⑩	ケーブル 600V EM-CET 150sq	158m	○		
⑪	露出配管 G22（可とう管にてキャビネットへ接続）	1本		○	既設配管流用
⑫	呼び線 1.2mm 被覆鉄線	150m	○		

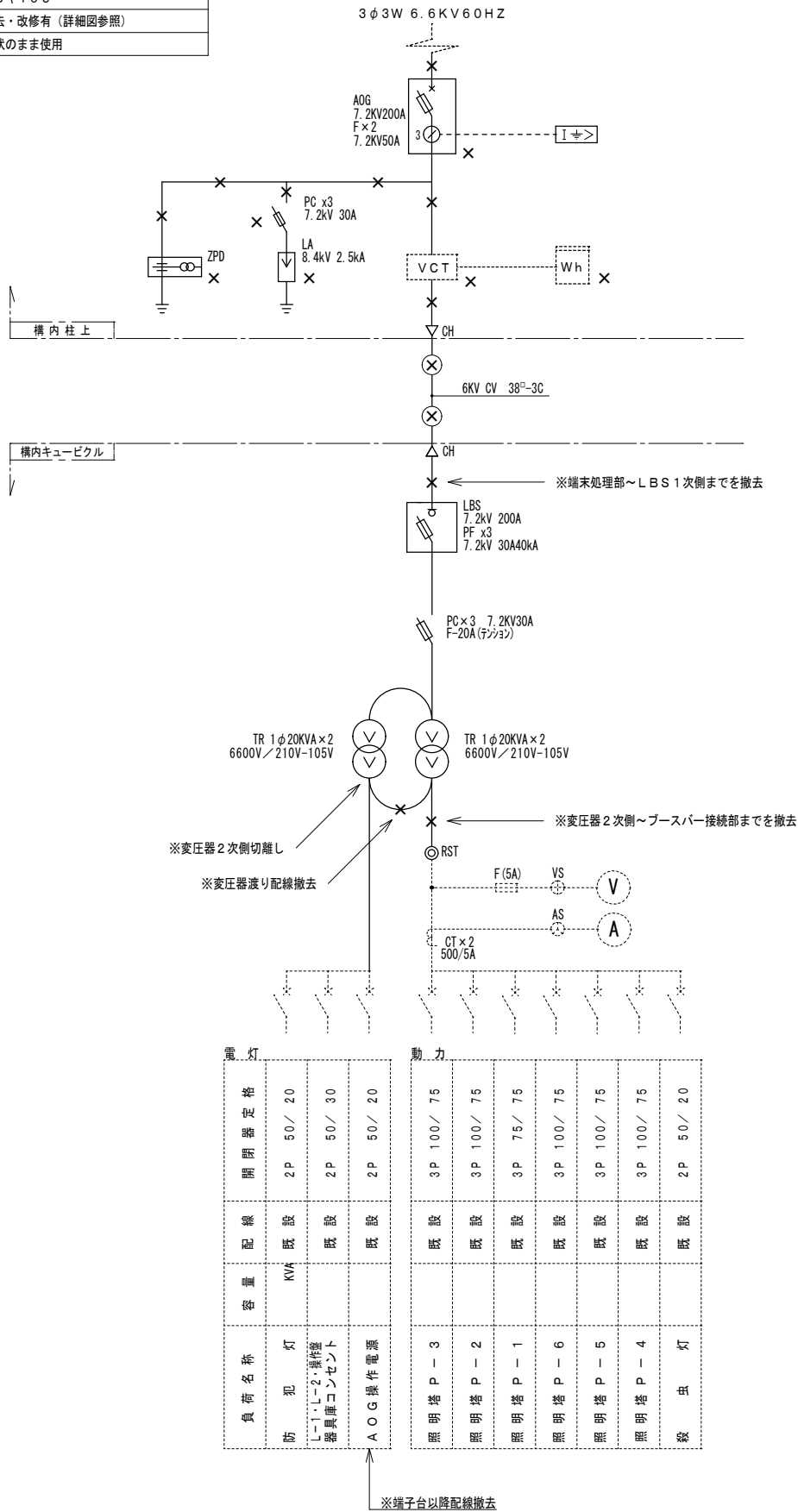
工事名	国府グラウンド・西スポーツ会館照明LED化工事		
図 名	国府グラウンド 受電設備改修詳細図		
縮 尺	A2:1/400・1/40 A3:1/560・1/56	番号	12枚の内 7号
設 計 年 月 日	令和 7年 7月		
設 計	てらい建築設計	二級建築士 第7424号 寺井 政志	
高 山 市			

凡 例

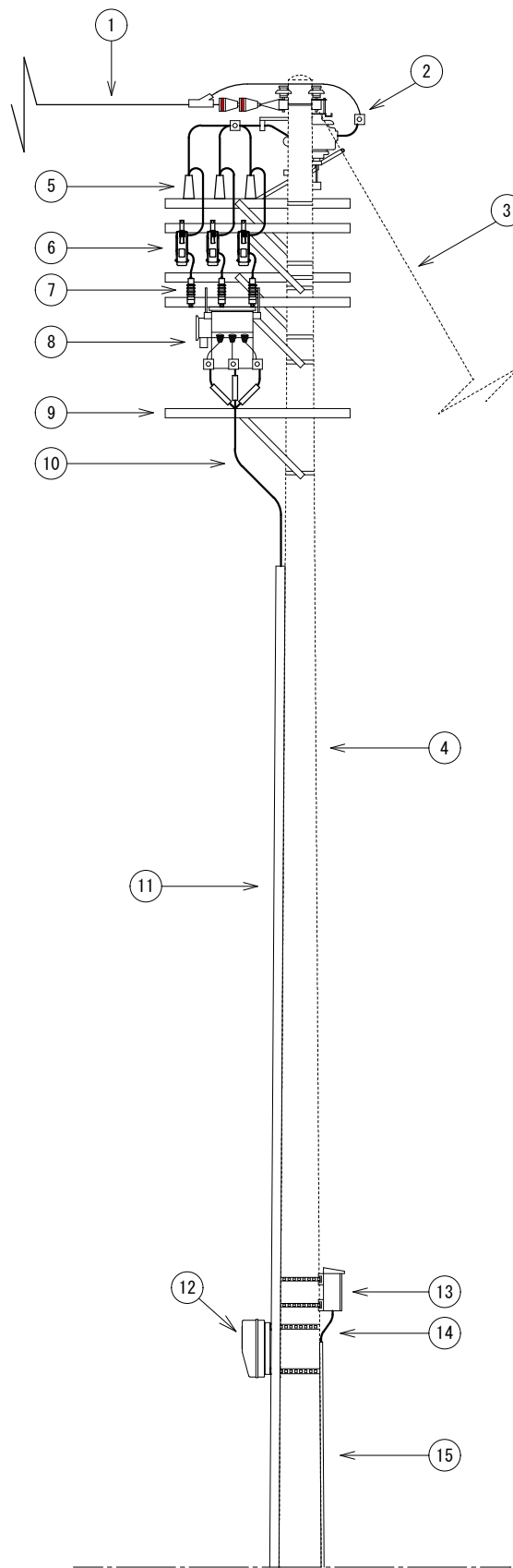
記 号	名 称	仕 様
⊙	中電柱	55キ103
○	既設引込柱	撤去・改修有（詳細図参照）
□	ハンドホール	現状のまま使用



外部配線図（撤去図）S:1/400



既設単線結線図（撤去図）



引込柱詳細図（撤去図）S:1/40

撤去工事 凡例

- 配線、配管 配管現状のままを示す。
- 撤去 配線、配管を示す。
- 配線：撤去、配管：現状のままを示す。
- 機器 現状のままを示す。
- 撤去 機器を示す。

	名 称 仕 様・規 格	数量	撤去	改修	備 考
①	高圧引込線 ※中部電力品	1式	○		※中電施工
②	高圧気中開閉器（AOG） 7.2KV 100A 8KA	1台	○		
③	支線 38sq(7/2.6)	1式			現状のまま
④	コンクリート柱	1本			現状のまま
⑤	地絡継電器（ZPD）	3台	○		
⑥	高圧カットアウトスイッチ（PC） 7.2KV 30A F:30A	3台	○		
⑦	避雷器（LA） 8.4KV 2.5KA	3台	○		
⑧	高圧計器用変圧器（VCT） ※中部電力品	1台	○		※中電施工
⑨	装柱金物類 腕金、バンド 等	1式	○		
⑩	高圧ケーブル 6.6KV CV 38sq-3C	158m	○		
⑪	露出配管 G70	1本		○	下部1m程度残す 上部切断、撤去
⑫	積算電力量計 ※中部電力品	1台	○		※中電施工
⑬	AOG制御装置収納箱	1台	○		
⑭	AOG制御用電源ケーブル CV 5.5sq-2C	158m	○		
⑮	露出配管 G22	1本		○	下部1m程度残す 上部切断、撤去

工事名	国府グラウンド・西スポーツ会館照明LED化工事		
図 名	国府グラウンド 受電設備撤去詳細図		
縮 尺	A2:1/400・1/40 A3:1/560・1/56	番号	12枚の内 8号
設 計 年 月 日	令和 7年 7月		
設 計	てらい建築設計	二級建築士 第7424号 寺井 政志	
高 山 市			

改修工事 凡例

- <キ>----- 今回工事 配線、配管を示す。
-----<キ>----- 既設 配線、配管を示す。
□ 今回工事 機器を示す。
□ 既設 機器を示す。

注記1) 線種記入なきは下記とする。

1. 6×2 (19)
EM-IE 1. 6×3 (内1本をE線とする) (19)
※1E線の露出部分は適切な保護を施すこと (スパイラルチューブ等使用)
EM-EEF 1. 6×3C (内1本をE線とする) (19)

注記2) 本設備図は、既存建物の新築時に於ける設計図に基づいて作成されている。
従って新築時の納まり、取合い等による変更、又は竣工後に行われた増改築及び設備の増設等により、既存の状態
と既存図面との間に差異が生じ、本設計図書によることが困難な場合は、係員と打合せの上、その指示に従う。


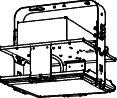

注記3) 機器及び器具の取付位置、高さ等については、施工時再度打合せの上、施工する事。

凡例

- ⊗ 丸型露出ボックス
⊠ プールボックス
E→E 管端ブッシング

1 階平面図 S=1:100

照明器具一覧表

A-1	高天井用照明器具 水銀灯300形器具相当	
		
参考品番：パナソニック N YM20200LR9		
本体	アルミ、アーム：遮熱鋼板	
パネル	ポリカーボネート（透明）	
	光束11000lm、消費電力60.3W、電圧100～242V	
	昼白色、5000K、Ra70、拡散タイプ、直付型	
B-1	LED非常灯専用型 リモコン自己点検機能付	●
		
参考品番：パナソニック NNF89300SG		
本体	レンズ：ガラス、カバー：鋼板（ケルホワイトつや消し仕上げ）	
	LED内蔵、常時点・非常灯用LED点灯/常時消灯	
	非常灯評定番号：LALE-005	
	電圧：100～242V、蓄電池：ニッケル水素電池	

原設計図
【A2】

工 事 名	国府グラウンド・西スポーツ会館照明LED化工事		
図 名	西スポーツ会館 1階照明設備改修図		
縮 尺	A2:1/100 A3:1/140	番 号	12枚の内 9号
設 計 年 月 日	令和 7年 7月		
設 計	てらい建築設計 二級建築士 第7424号 寺井 政志		
高 山 市			

改修工事 凡例

- 今回工事 配線、配管を示す。
既設 配線、配管を示す。
今回工事 機器を示す。
既設 機器を示す。

注記1) 線種記入なきは下記とする。

1. 6×2 (19)
EM-IE 1. 6×3 (内1本をE線とする) (19)
※1E線の露出部分は適切な保護を施すこと (スパイラルチューブ等使用)
EM-EEF 1. 6×3C (内1本をE線とする) (19)

注記2) 本設備図は、既存建物の新築時に於ける設計図に基づいて作成されている。
従って新築時の納まり、取合い等による変更、又は竣工後に行われた増改築及び設備の増設等により、既存の状態
と既存図面との間に差異が生じ、本設計図書によることが困難な場合は、係員と打合せの上、その指示に従う。

注記3) 機器及び器具の取付位置、高さ等については、施工時再度打合せの上、施工する事。

凡 例

- 丸型露出ボックス
フルボックス
管端ブッシング

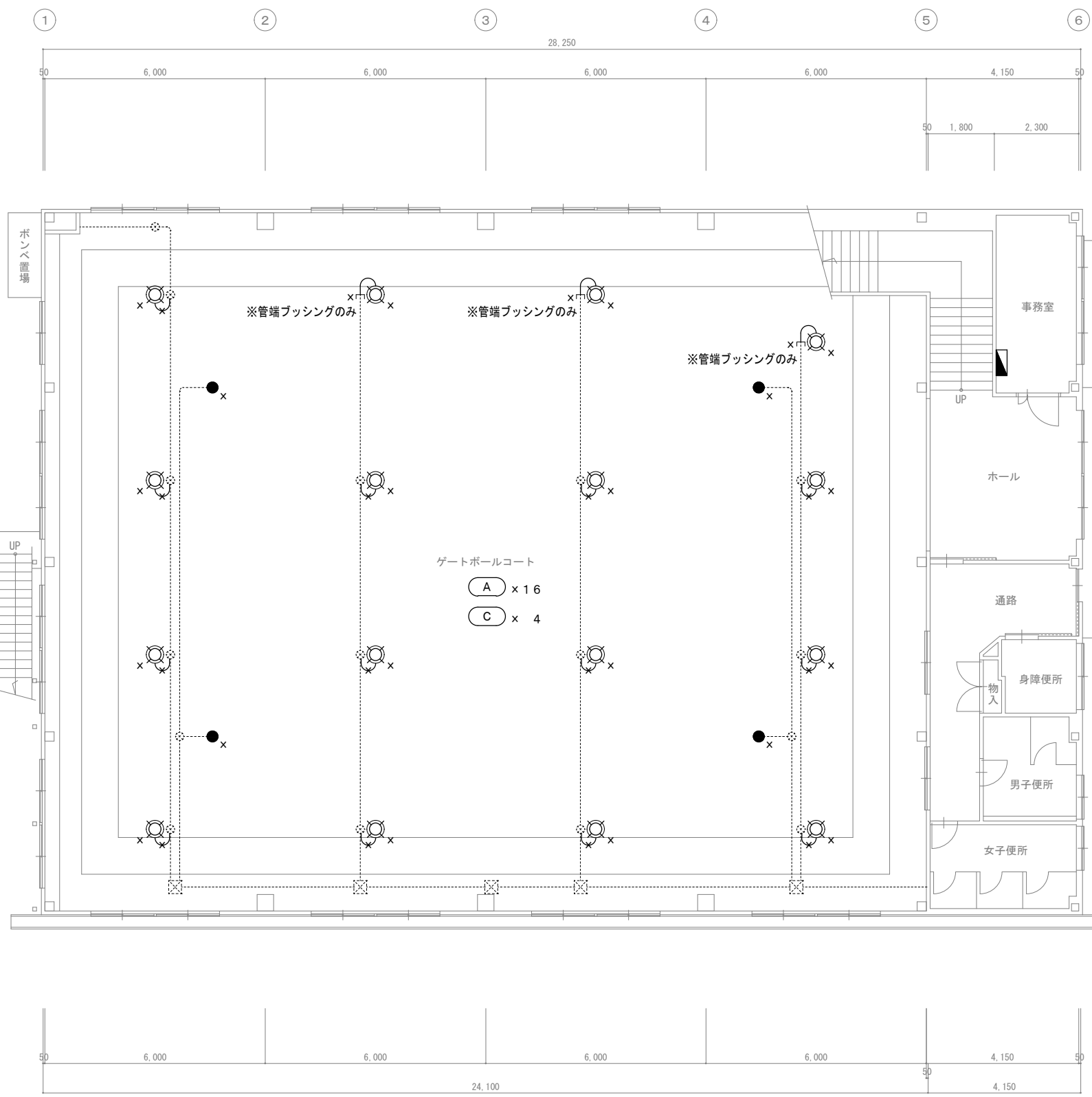
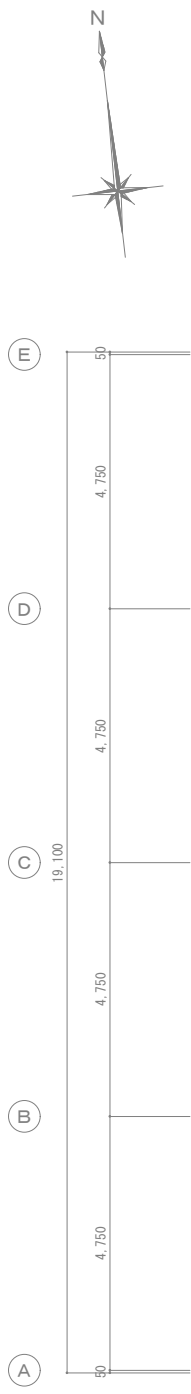
2 階 平 面 図 S=1 : 100

照明器具一覧表

A-1	高天井用照明器具 水銀灯300形器具相当	
参考品番: パナソニック NNM20200LR9		
本 体	アルミ、アーム、遮光鋼板	
パネル	ポリカーボネート (透明)	
	光束11000lm、消費電力60.3W、電圧100~242V	
	昼白色、5000K、Ra70、栓数タイプ、直付型	
B-1	LED非常灯専用型 リモコン自己点検機能付	
参考品番: パナソニック NNF893005G		
本 体	レンズ: ガラス、カバー: 鋼板 (ケルホワイトつや消し仕上)	
	LED内蔵、非常時・非常灯用LED器具/常時消灯	
	非常灯許容番号: LALE-005	
	電圧: 100~242V、蓄電池: ニッケル水素電池	

原設計図
【A2】

工事名	国府グラウンド・西スポーツ会館照明LED化工事		
図 名	西スポーツ会館 2階照明設備改修図		
縮 尺	A2: 1/100 A3: 1/140	番号	12枚の内 10号
設 計 年 月 日	令和 7年 7月		
設 計	てらい建築設計	二級建築士 第7424号 寺井 政志	
高 山 市			



- 撤去工事 凡例
- 配線、配管 配管現状のままを示す。
 - 撤去 配線、配管を示す。
 - 配線：撤去、配管：現状のままを示す。
 - 機器 現状のままを示す。
 - 撤去 機器を示す。

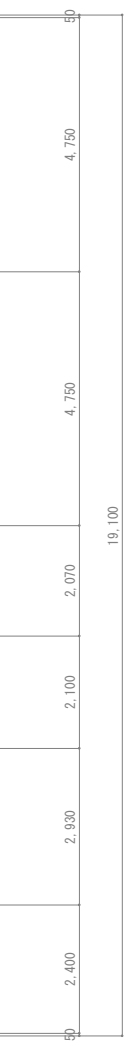
注記 1) 線種記入なきは下記とする。

1. 6 × 2	(19)
1. 6 × 3	(19)

注記 2) 本設備図は、既存建物の新築時に於ける設計図に基づいて作成されている。
従って新築時の納まり、取合い等による変更、又は竣工後に行われた増改築及び設備の増設等により、既存の状態と既存図面との間に差異が生じ、本設計図書によることが困難な場合は、係員と打合せの上、その指示に従う。

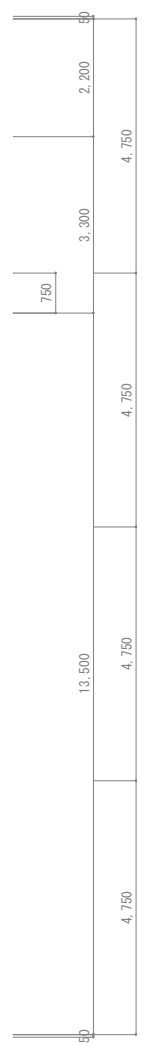
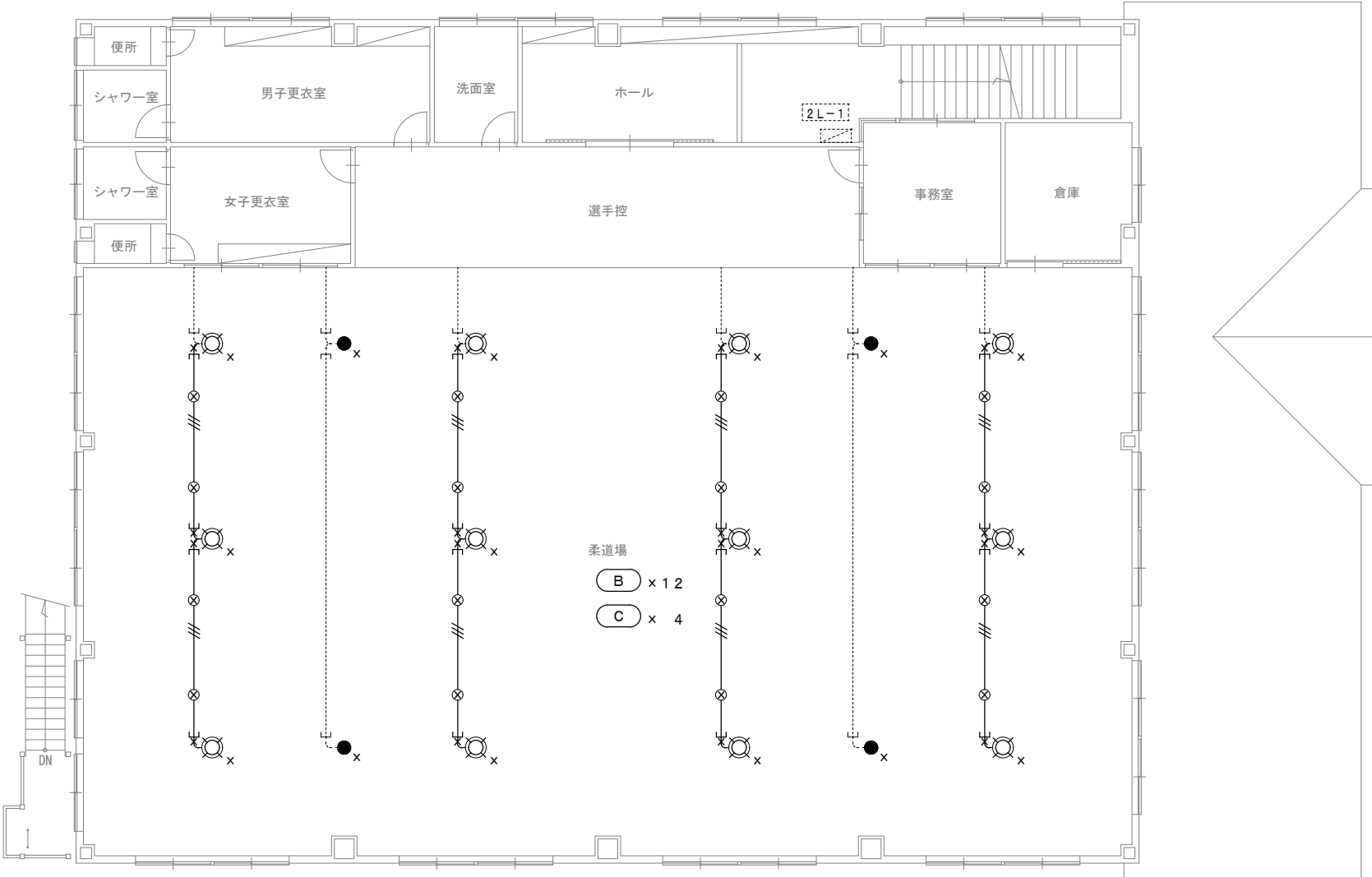
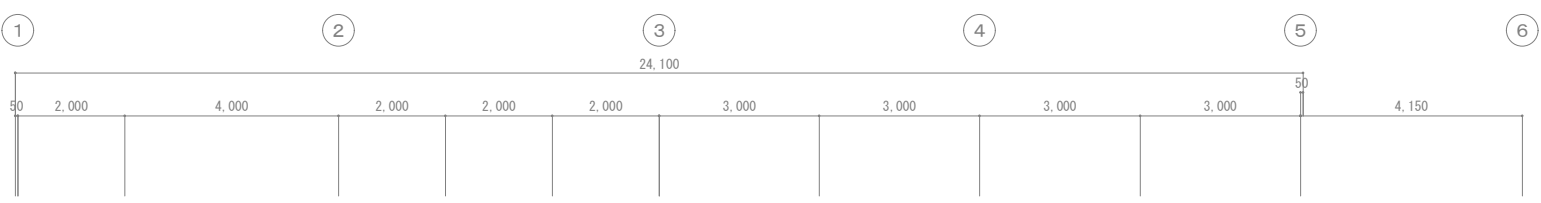
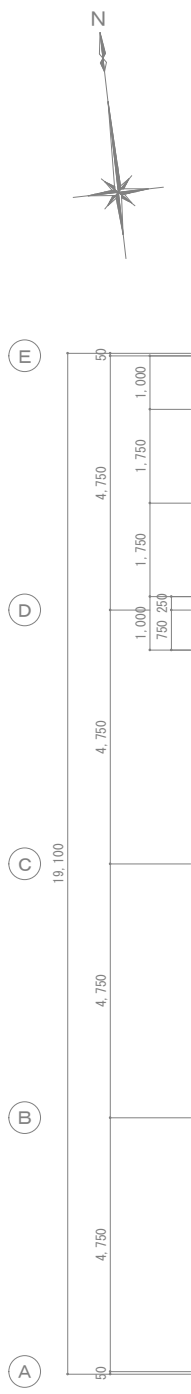
1 階平面図 S=1 : 100

照明器具一覧表		
A	HF200X x1灯用 ペンダント型 安定器共	
C	LE14. 4V IL40W x1	



工事名	国府グラウンド・西スポーツ会館照明LED化工事		
図名	西スポーツ会館 1階照明設備撤去図		
縮尺	A2:1/100 A3:1/140	番号	12枚の内 11号
設計年月日	令和 7年 7月		
設計	てらい建築設計 二級建築士 第7424号 寺井 政志		
高 山 市			

原設計図
【A2】



照明器具一覧表		
B	HF250X ×1灯用 ペンダント型 安定器共	
C	LE14.4V IL40W ×1	

- 撤去工事 凡例
- 配線、配管 配管現状のままを示す。
 - 撤去 配線、配管を示す。
 - 配線：撤去、配管：現状のままを示す。
 - 機器 現状のままを示す。
 - 撤去 機器を示す。

注記1) 線種記入なきは下記とする。

1. 6×2	(19)
1. 6×3	(19)

注記2) 本設備図は、既存建物の新築時に於ける設計図に基づいて作成されている。
従って新築時の納まり、取合い等による変更、又は竣工後に行われた増改築及び設備の増設等により、既存の状態
と既存図面との間に差異が生じ、本設計図書にすることが困難な場合は、係員と打合せの上、その指示に従う。

2 階平面図 S=1：100

工事名	国府グラウンド・西スポーツ会館照明LED化工事		
図 名	西スポーツ会館 2階照明設備撤去図		
縮 尺	A2:1/100 A3:1/140	番号	12枚の内 12号
設 計 年月日	令和 7年 7月		
設 計	てらい建築設計	二級建築士 第7424号 寺井 政志	
高 山 市			